

2009年度 日本文化人類学会  
第2回 理事会 議事録

日時：2009年5月24日（日）14：00－18：00

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a

出席者：山本、上杉、太田、岸上、窪田、栗田、桑山、坂井、佐々木、鷹木、名和、吉岡

委任状提出：赤堀、鏡味、春日、須藤、瀬川、関根久雄、松田、和崎

欠席：葛野、関根康正

[承認事項]

1. 2009年度第1回理事会議事録案

- ・前回（2009年度第1回）理事会議事録を承認。

2. 新入会員の承認

- ・新入会員（18名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

3. 各種委員会の委員補充・役割分担変更

- ・栗田理事を山本会長がこれまで代行していた研究大会運営検討委員長とすることを承認。
- ・山本会長が選任した関根久雄新理事（筑波大学）を関東地区研究懇談会担当委員に追加することを葛野、関根両氏の承諾を条件に承認。

[報告事項]

1. 会長報告

- ・第23期理事で、第20期会長を務めた大塚和夫会員が2009年4月29日に逝去したことを報告。
- ・大塚理事の逝去に伴い、日本文化人類学会会則第11条第4項に基づき、第23期理事選出の際に次点であった評議員2名を対象に理事の補充選を5月11日に事務局で実施し、その結果を受けて、山本会長が関根久雄氏を新理事に選任したことを報告。
- ・『文化人類学事典』の出版契約を丸善出版と締結したことを報告。
- ・第43回研究大会における新型インフルエンザへの対応について、大会準備委員会からのお知らせを5月22日付でJASCA-INFOにより配信したことを報告。
- ・5月2日に開催された一般社団法人社会調査協会との会合で、旧社会調査士資格認定機構が社会調査協会として法人格を得たことにより、組織が個人単位の参加をもとに作られることになり、特定の学会が同協会の意思決定に関与する体制ではなくなったことと、それに応じて、本学会が組織として社会調査協会に参加することがもはやできなくなったとの説明とお詫びがあったことを報告。

2. 庶務理事報告

- ・日本文化人類学会名誉会員内規（第2条1項）に基づく2名の候補資格者から、名誉会員への推戴受諾の回答があったことを報告。
- ・前回理事会の決定に従い、『文化人類学事典』原稿料の按分通知が丸善株式会社より各執筆者・編集者へ送付されたことを報告。

- ・日本学術会議から、研究の現場において研究を進める上で支障になっている事項についてアンケートの回答依頼があったことを報告。理事会メーリングリストでアンケートを配信し 5 月 27 日まで回答を募ることとした。
3. 会計理事報告
    - ・2009 年 4 月 30 日に監査が終了したことを報告。
  4. 各種委員会報告
    - ・JRCA 編集委員会：5 月 24 日に開催された編集委員会で、JRCA Vol. 10 の編集方針を決定したことを報告。
    - ・国際連携委員会：JRCA の海外配布先として、『文化人類学』を定期購読している機関を中心に選定中であることと、委員会で暫定的な送付先リストを作成した後、理事からも意見を募って送付先を確定する予定であることを報告。
    - ・地区研究懇談会担当委員：各地区研究懇談会開催予定を報告。
    - ・学会賞選考委員会：夏期休暇前に選考活動を開始予定であることを報告。
  5. 第 43 回研究大会の準備状況及び新型インフルエンザへの対応
    - ・佐々木理事より、研究大会準備委員会の決定として、研究大会は予定通り開催し、懇親会を中止することを報告。総会・学会賞授賞式の開催の可否については理事会の判断に委ねることを報告。

[審議事項]

1. 2008 年度事業報告・決算報告、2009 年度事業計画・予算計画
  - ・上杉理事より、2008 年度事業報告・2009 年度事業計画（案）について資料に基づき説明があり、文言の調整を行なった。次回理事会で最終確認し、評議員会の議を経て総会に提案することが承認された。
  - ・欠席の葛野理事に代わり、上杉理事より 2008 年度決算・2009 年度予算案について資料に基づき説明があった。次回理事会で最終確認し、評議員会の議を経て総会に提案することが承認された。
2. 研究大会における新型インフルエンザへの対応
  - ・研究大会準備委員会の要請を受けて、2009 年度総会・学会賞授賞式・学会賞受賞講演会の開催の可否について検討を行なった結果、行政側の方針変更や感染状況に変化がない限り、総会・学会賞授賞式・学会賞受賞講演会を予定通り開催することとし、この決定を研究大会準備委員会に伝えることとした。
3. 研究大会運営に関する改革案・提案
  - ・研究大会運営検討委員長代行の山本会長より資料に基づき「研究大会運営に関する提案（素案）」について説明があり、審議の結果、査読制の運用の細部については検討の余地があるものの、同提案が大筋において承認された。今後、次回評議員会での審議・承認を経て、同提案を総会に提示することとした。また、査読制の運用の細部については今後も検討を続けることとした。
4. 「日本文化人類学会賞選考規則」の改正

- ・前回理事会での決定に基づき、以下の改正が承認された。変更部分は下線部の通り。なお、改正日は2009年5月24日とし、2010年4月1日から施行することが確認された。

(改正前)

2. 学会賞選考委員会

- 4) 学会賞選考委員会委員の任期は1年とし、引き続き2年まで再任できるが、委員を退任したあと4年間は重任できないものとする。

(改正後)

2. 学会賞選考委員会

- 4) 学会賞選考委員会委員の任期は2年とし、委員を退任したあと4年間は重任できないものとする。

5. JRCA掲載用学会賞受賞論文の翻訳

- ・山本会長より、前回理事会での議論を踏まえて、学会賞授賞論文を英訳し JRCAへ掲載するために必要な費用を2009年度予算(案)に追加計上することが提案され、審議の結果、承認された。また、学会奨励賞授賞論文を英訳し JRCAへ掲載することについて意見交換を行った。

6. 学会費の PayPal 決済

- ・山本会長より、海外在住通常会員及び海外滞在中で日本国内での支払いが不可能な国内在住通常会員の年会費支払いについて、PayPal を使用した決済を認めることが提案され、承認された。また、運用の詳細については、総務会に一任することが承認された。

7. ロゴマーク

- ・山本会長より、学会ロゴマークの制定について公募を行うことが提案され、承認された。これにともない、2009年度事業計画(案)に学会ロゴマークの公募事業を追加し、併せて、2009年度予算(案)に学会ロゴマーク作成への謝礼を追加計上することが承認された。

8. その他

- ・山本会長より、逝去した大塚和夫会員への追悼文の学会誌掲載が提案され、意見交換が行なわれた。また、ご遺族に対し、会長名でお悔やみ状と花を送ることが承認された。

以上